

1 灰溶融設備

可燃ごみの焼却によってできた主灰・飛灰を高温で溶かし、溶融スラグを生成する設備のこと。

2 溶融スラグ

主灰・飛灰の減容化、無害化、資源化を図る目的で製造するもの。主灰・飛灰を高温で溶かし、冷却してできるガラス状の物質。道路の舗装や建材の材料として使われる。

3 焼却残さ

主灰、飛灰、ダスト、不燃性廃棄物からなる。

4 焼却灰

主灰、飛灰、ダストからなる。

5 主灰

焼却灰のうち、焼却炉の底などから回収される灰のこと。

6 飛灰

焼却灰のうち、排ガス出口の最初のフィルターで集められたばいじん。

7 ダスト

焼却灰のうち、排ガス出口の2つ目のフィルターで集められたばいじん。再資源化が困難なため、薬剤処理後に埋立。

8 ダスト固化物

ダストを薬品により固化したもの。ダストの飛散を防止するとともに有害物質の溶出を防止している。

9 鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ

鳥取県西部圏域の市町村の不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、缶・ビン類、ペットボトル等の処理施設。

10 鳥取県西部広域行政管理組合エコスラグセンター

リサイクルプラザの処理残さ、米子市以外の焼却場から出た焼却灰、し尿汚泥焼却残さ、下水道汚泥焼却残さの溶融処理を行う施設。平成28年2月をもって稼働停止した。

11 食品ロス

本来食べられるのに捨てられる食品のこと。事業系からは、主に規格外品、返品、売れ残り、食べ残しなど、家庭系からは、主に食べ残し、手つかずの食品（直接廃棄）、皮の剥きすぎなど（過剰除去）が発生要因となる。

12 グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。平成13年4月に施行されたグリーン購入法により、国等の機関にグリーン購入を義務づけるとともに、地方公共団体や事業者・国民にもグリーン購入に努めることが求められている。

13 TEAS、KES

TEAS…県内の中小企業等の環境配慮活動への取組みを容易にするため、県が一定の基準を設け、環境配慮活動を審査登録・公表する独自の制度。

KES…TEASと同様の日本国内の環境マネジメントシステムの1つで、関西圏を中心として展開される制度。